

# 令和7年度 江戸川区立大杉東小学校 年度末アンケート結果報告

令和8年1月30日

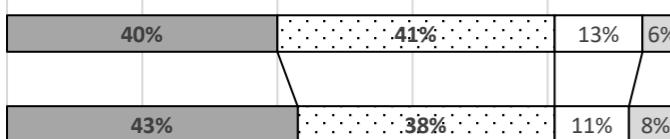
日頃より本校の教育活動へのご理解並びにご協力をありがとうございます。先日は「年度末アンケート」にご協力いただきありがとうございました。以下、結果をご報告いたします。今回の結果を踏まえて、次年度の教育活動の充実をさらに図っていきます。引き続き、ご協力をよろしくお願ひいたします。

## (1)児童の変容

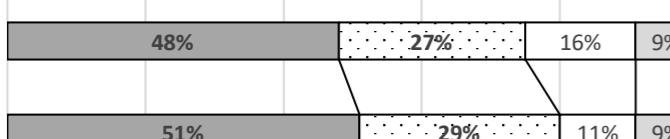
※上段:令和6年度 下段:令和7年度

■ あてはまる ■ 少しあてはまる □ あまりあてはまらない ■ あてはまらない

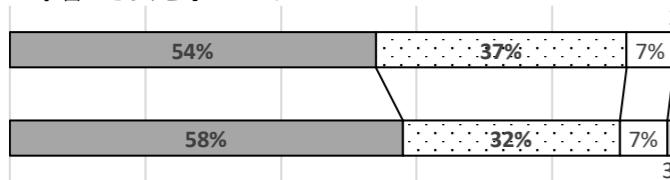
### 1.毎日、同じくらいの時間に起きたり寝たりしている



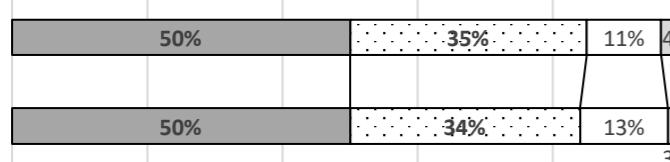
### 5.放課後や休日などに運動している



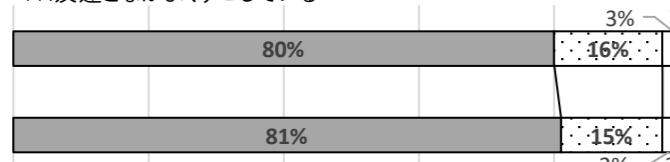
### 9.学習のきまりを守っている



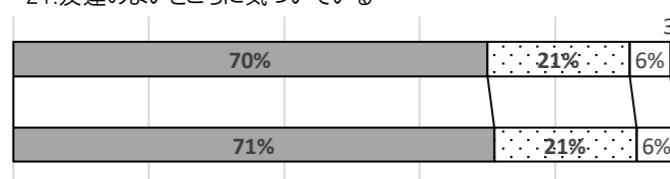
### 13.友達と考えを伝え合っている



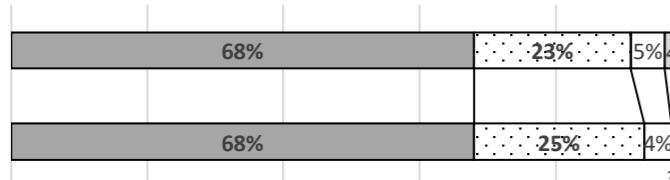
### 17.友達とかよくすごしている



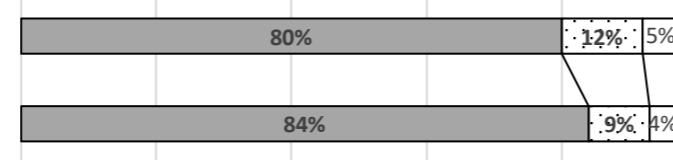
### 21.友達のよいところに気づいている



### 25.人の役に立つ人間になりたいと思っている



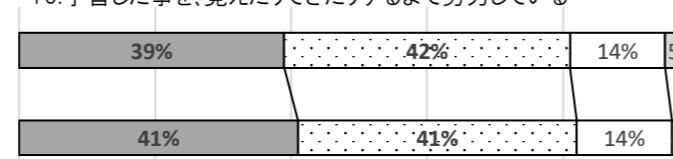
### 2.朝食を毎日食べている



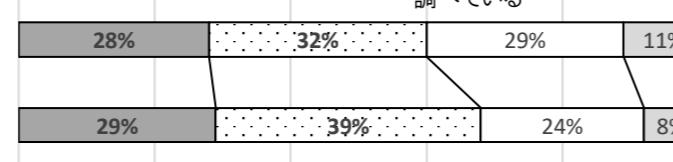
### 6.本を読むことが好きである



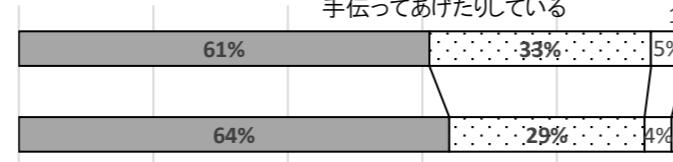
### 10.学習した事を、覚えたりできたりするまで努力している



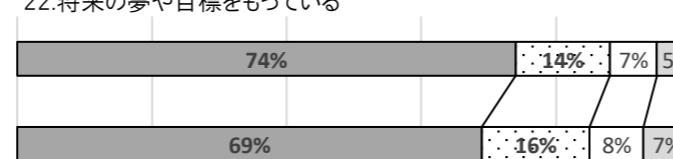
### 14.学習してもっと知りたいと思うことをすすんで調べている



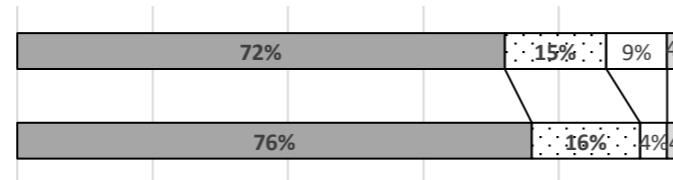
### 18.友達が困っていたら、助けたり、すすんで手伝ってあげたりしている



### 22.将来の夢や目標をもっている



### 26.体を動かして遊ぶことが好きである



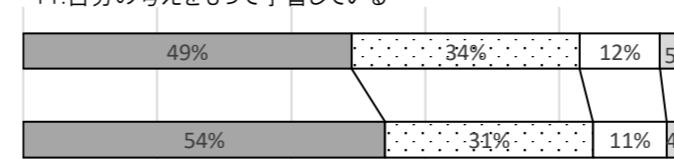
### 3.ゲームやタブレット、スマートフォンなどの使い方について、家の人と約束したことを守っている



### 7.本を使って調べることが好きである



### 11.自分の考えをもって学習している



### 15.生活のきまりを守っている



### 19.自分の役割にすすんで取り組んでいる



### 23.自分でやると決めたことは、やり遂げようとしている



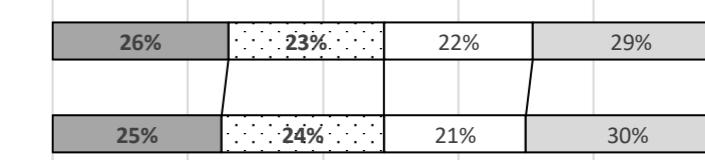
### (1)より

- ほとんどの項目で、「あてはまる」と答える児童の割合が増えました。今後も自分の姿を日常的に振り返る習慣を身に付けることで、自分と向き合い、自分の行動に自信をもって回答できる児童を育成していきます。
- 学習面においては、自分の考えを伝えることや友達との学び合いに関して、肯定的回答が減ってきました。各教科において「学ぶ楽しさや喜びを味わえる授業」が展開されるよう授業改善に努めています。
- 体力面や友達との関わりは肯定的に捉えている児童が多いです。今後もより運動に親しんだり、友達と仲良く関わったりする機会を増やしていきます。
- 本を読むことや本の活用については肯定的回答が増えました。読書の楽しさを味わわせる工夫を重ねています。

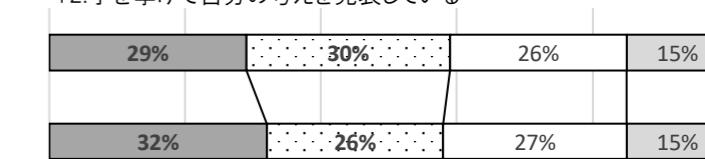
### 4.家庭学習(塾や習い事も含む)に忘れずに取り組んでいる



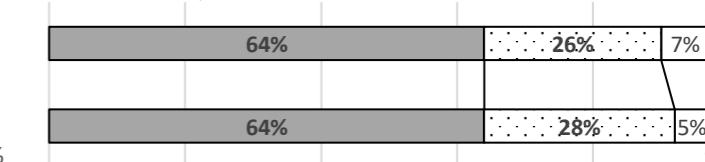
### 8.家庭で読書(マンガ以外)をしている



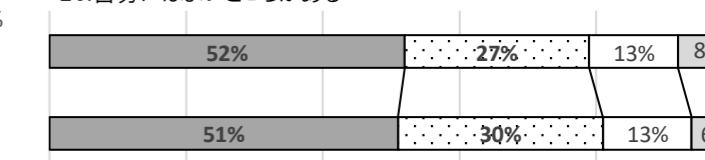
### 12.手を挙げて自分の考えを発表している



### 16.すすんで、あいさつしている



### 20.自分にはよいところがある



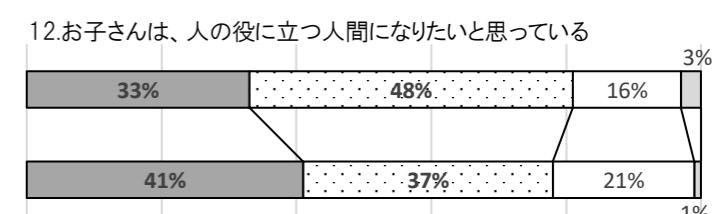
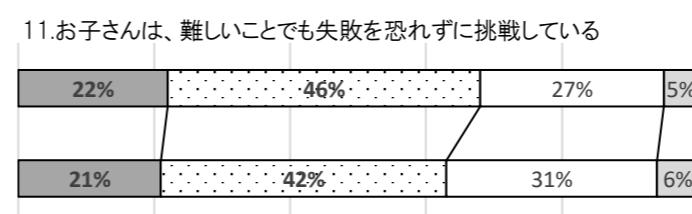
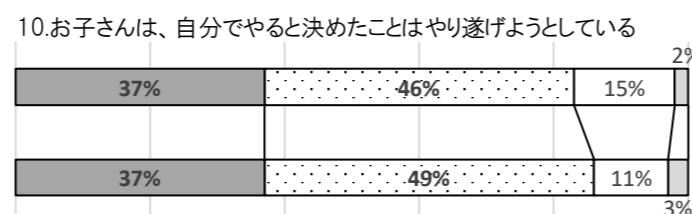
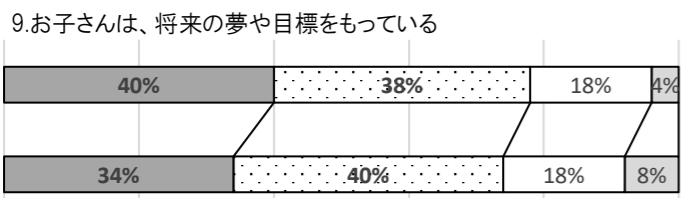
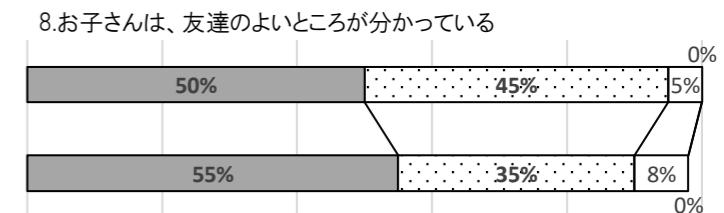
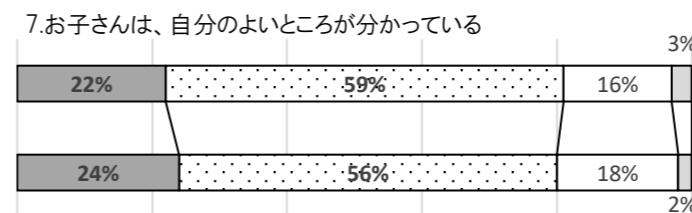
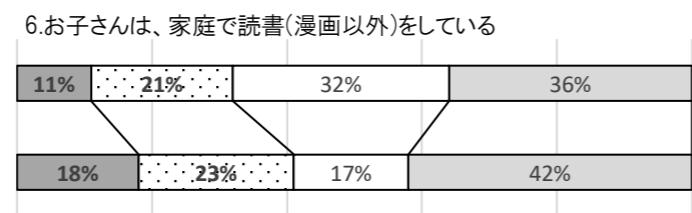
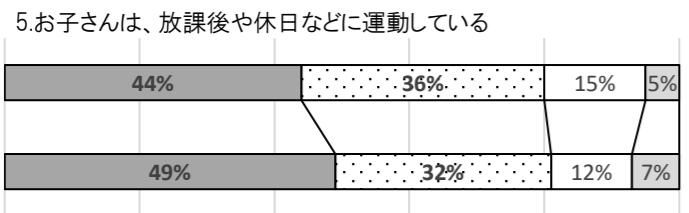
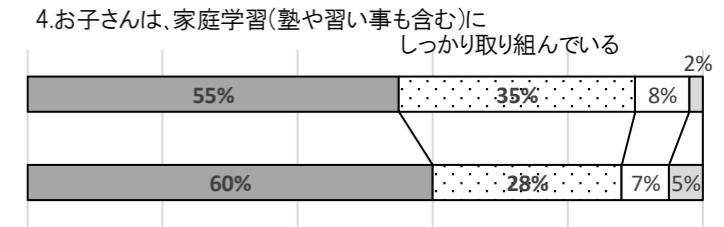
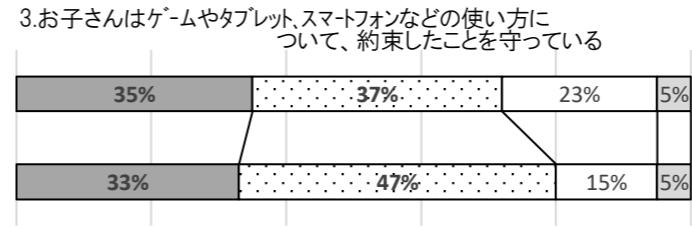
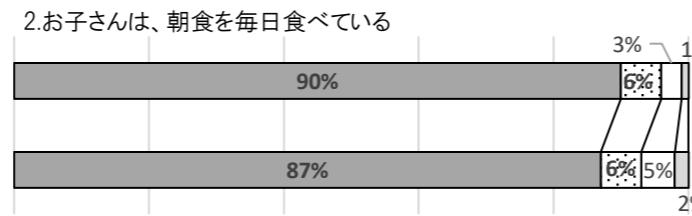
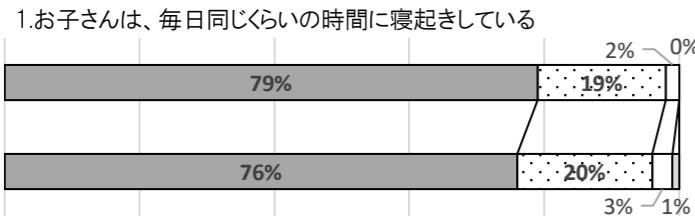
### 24.難しいことでも、失敗を恐れずに挑戦している



(2) 保護者の皆様の昨年度との比較

あてはまる  少しあてはまる  あまりあてはまらない  あてはまらない 

※上段:令和6年度 下段:令和7年度



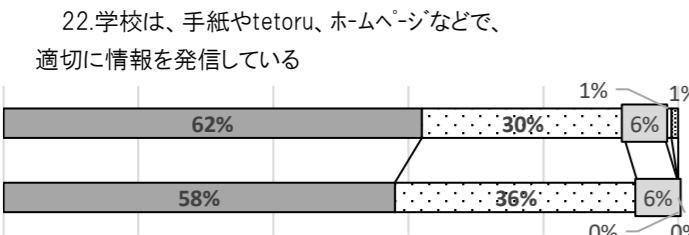
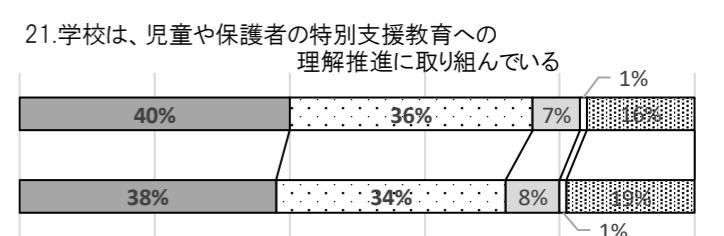
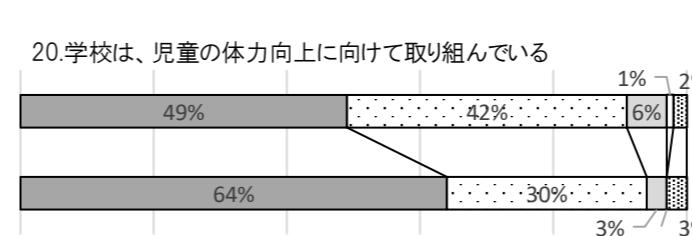
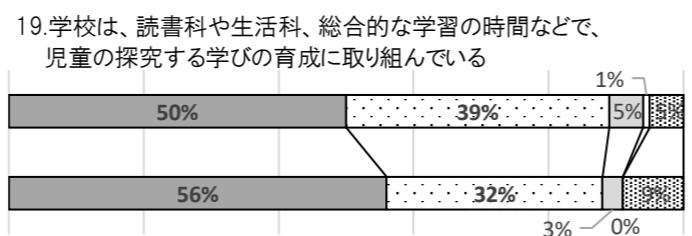
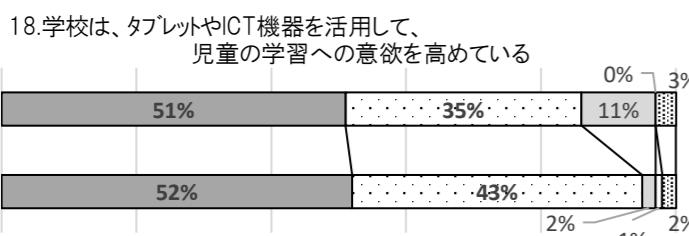
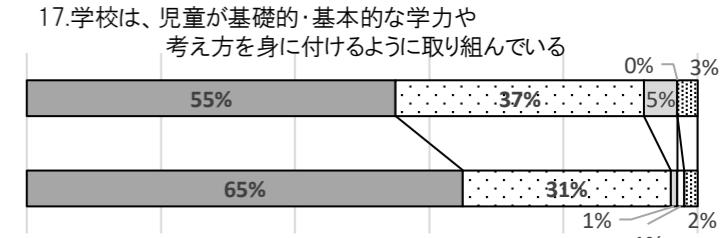
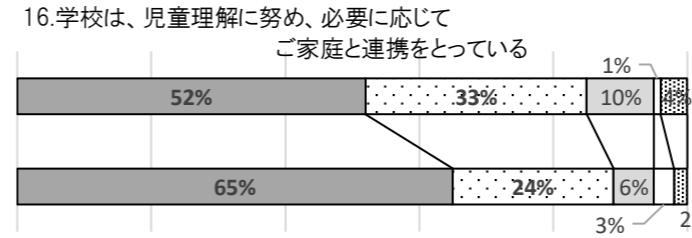
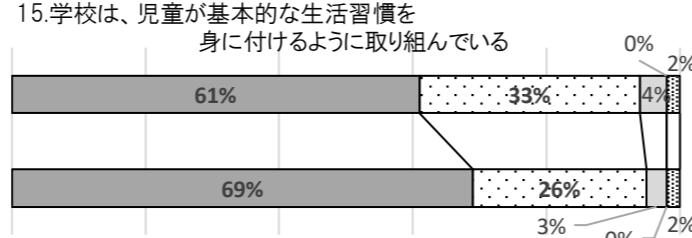
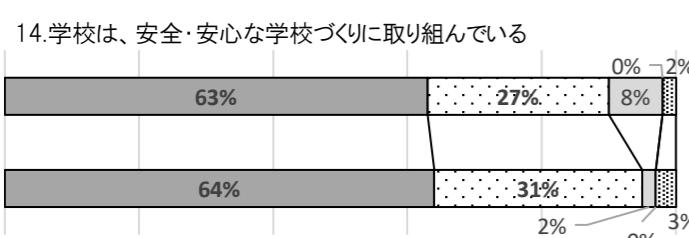
(2)より

- 全体的に肯定的回答が若干減ってしまいました。昨年度に比べ、回答率が25%下がってしまったことも影響していると考えます。多くの保護者の皆様にご回答いただけるように「年度末アンケート」を工夫してまいります。
- 家庭での読書については、昨年度よりも肯定的回答が増えた反面、「あてはまらない」と回答された割合も増えています。児童への同様の質問でも、否定的回答が半数を超えていらっしゃいます。読書は学力との相関関係も証明されています。読み物について話題にするなど、ご家庭でも本に親しむ機会を増やしてください。
- お子さんの頑張りを認め、褒めてくださっていることに感謝いたします。褒められると自尊感情が高まります。自尊感情の高まりは将来への希望にもつながります。

(3) 学校に関する項目における保護者の皆様のご回答(昨年度との比較)

思う  少しそう  あまり思わない  思わない  分からない 

※上段:令和6年度 下段:令和7年度



(3)より

- ほとんどの項目で肯定的回答の割合が増えたことは、教職員にとって大きな励みとなります。特に、昨年度から研究や実践を重ね、区や都にその取組を発信してきた「体力向上」に関して評価いただきました。今後も児童が健康増進や体力向上を主体的に目指すよう、機会や場を工夫していきます。
- 学びをより楽しいものにするためには、基礎的な内容の定着は必要不可欠です。この定着には反復練習が必要ですが、個人差が大きいため、本校では昨年度から「宿題」ではなく「自主学習」として、より個に応じた学習が家庭でできるようにしました。今後も児童の学びへの意欲が高まるよう支援していきます。
- 特別支援教育への理解推進については、「分からず」の回答が増えてしまいました。施設や授業の公開、情報の発信にさらに努めてまいります。